

兵庫県

千種川

滝沢 享

兵庫県と鳥取県との県境、兵庫県千種町から瀬戸内海に面する赤穂市へ流れる鮎釣り場として有名な川である。

ヘラブナ釣りの実績は比較的古く35年程になる。釣り場は上郡町から赤穂市までの約25kmの間が主な釣り場である。

釣期は3月から12月まで、1月、2月は水の透明度が上がり釣り難くなる。6月から9月までは、堰の近くやワンド以外では、鮎釣りと網打ちの為、ヘラブナが落ち着かず、釣果が落ちる。この為、釣り期は春先から5月いっぱい、10月から12月までが無難であるが、最近では富原橋のかみ手では夏場でも釣れている。

過去には小べらが多かったが、これもトラックバスの影響か、少し型が大きくなり、アベレージサイズは30cm前後。35〜40cmクラスも釣れる様になったが、やはり数釣りを楽しむ釣り場だ。

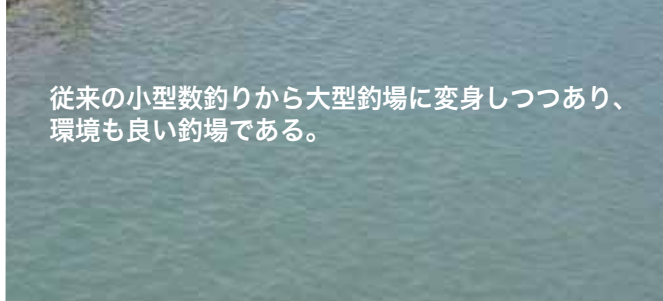
有料



富原橋右岸上流、長谷川の流れ込みからかみ手一帯は河川敷が整備され、駐車も出来、40cm級も釣れて大型釣場になって、近年の人気釣り場。



山陽自動車道下の38cm



従来の小型数釣りから大型釣場に変身しつつあり、環境も良い釣場である。



山陽本線かみ手左岸のテトラ

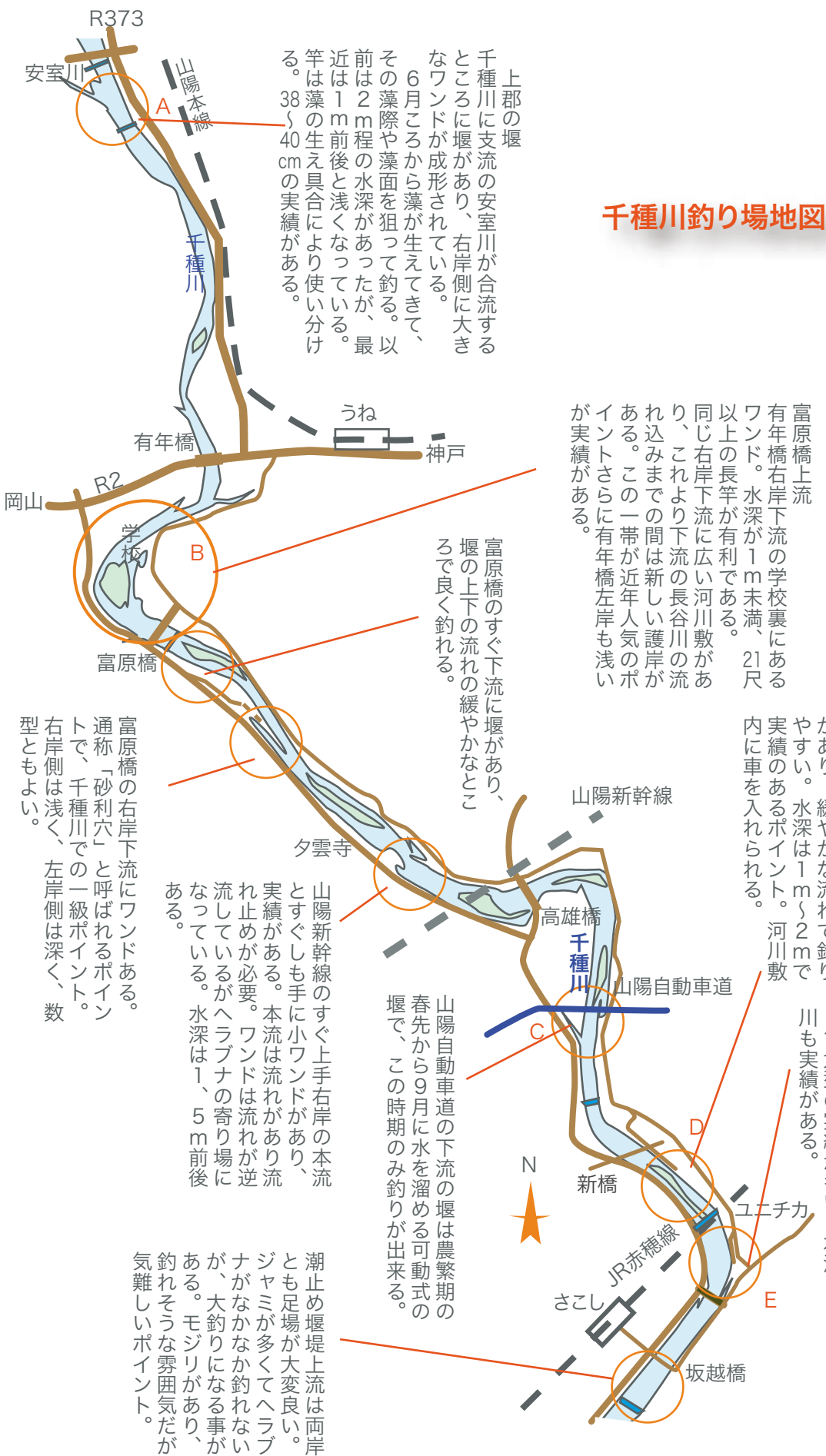


上郡の堰の39cm



富原橋の37.5cm

千種川釣り場地図



上郡の堰
千種川に支流の安室川が合流する
ところに堰があり、右岸側に大き
なワンドが成形されている。
6月ころから藻が生えてきて、
その藻際や藻面を狙って釣る。以
前は2m程の水深があったが、最
近は1m前後と浅くなっている。
竿は藻の生え具合により使い分け
る。38〜40cmの実績がある。

富原橋上流
有年橋右岸下流の学校裏にある
ワンド。水深が1m未満、21尺
以上の長竿が有利である。
同じ右岸下流に広い河川敷があ
り、これより下流の長谷川の流
れ込みまでの間は新しい護岸が
ある。この一帯が近年人気のポ
イントさらに有年橋左岸も浅い
が実績がある。

富原橋のすぐ下流に堰があり、
堰の上下の流れの緩やかなとこ
ろで良く釣れる。

赤穂線のかみ手左岸はテトラ
があり、緩やかな流れで釣り
やすい。水深は1m〜2mで
実績のあるポイント。河川敷
内に車を入れられる。

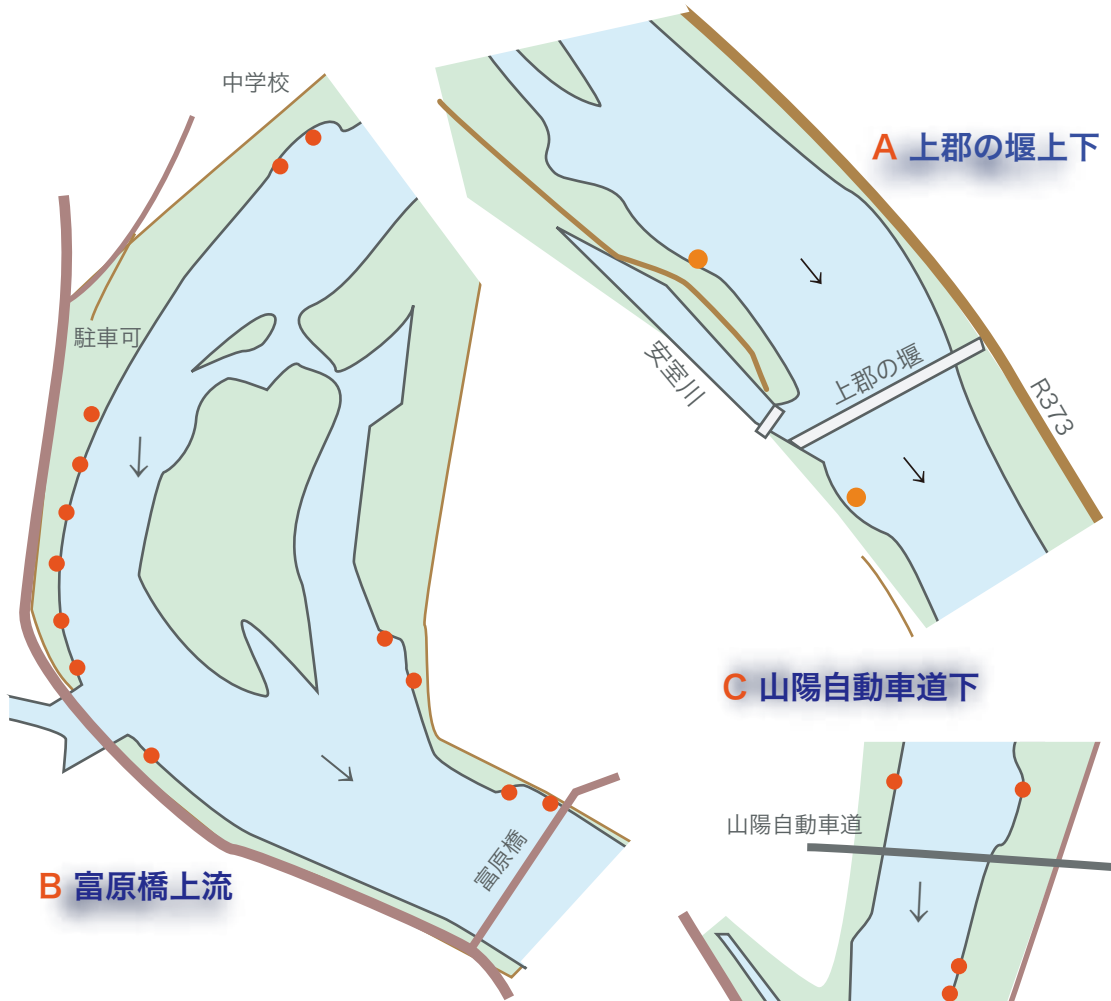
富原橋の右岸下流にワンドある。
通称「砂利穴」と呼ばれるポイン
トで、千種川での一級ポイント。
右岸側は浅く、左岸側は深く、数
型ともよい。

山陽新幹線のすぐ上手右岸の本流
とすぐしも手に小ワンドがあり、
実績がある。本流は流れがあり流
れ止めが必要。ワンドは流れが逆
流しているがヘラブナの寄り場
になっている。水深は1、5m前後
ある。

山陽自動車道の下流の堰は農繁期の
春先から9月に水を溜める可動式の
堰で、この時期のみ釣りが出来る。

ガソリンスタンド裏に小さな
ワンドがあり、ここも型は小
さいが安定して釣れるポイン
トで大型の実績が多い。本流
川も実績がある。

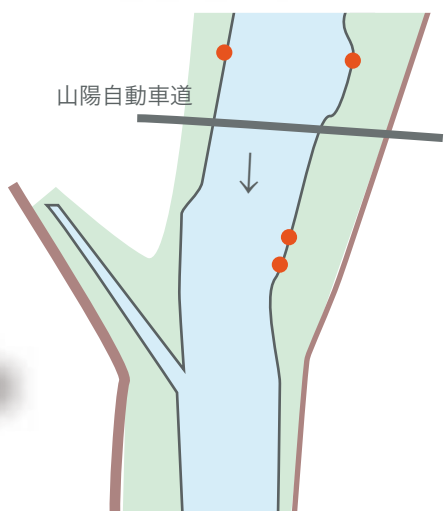
潮止め堰堤上流は両岸
とも足場が大変良い。
ジャミが多くてヘラブ
ナがなかなか釣れない
が、大釣りになる事が
ある。モジリがあり、
釣れそうな雰囲気だが
気難しいポイント。



A 上郡の堰上下

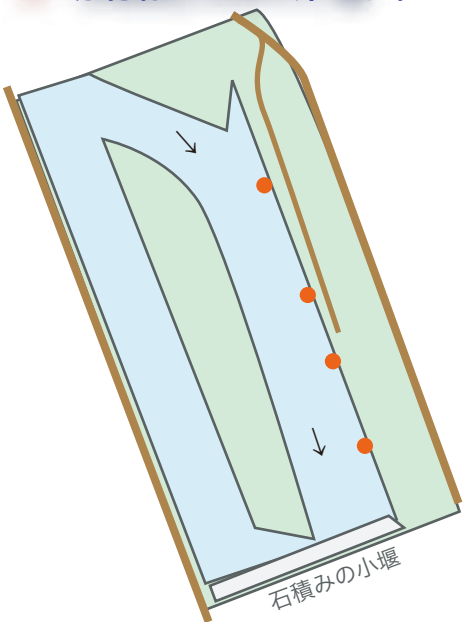
B 富原橋上流

C 山陽自動車道下



千種川ポイント図

D 赤穂線かみ手左岸の小堰



E ユニチカのワンド